



# 制服とカーペットの マテリアルリサイクルを推進

## 1. 制服リサイクル

環境問題への意識が高まる中、株式会社NAAリテイリングでは身近にできる取り組みを検討し、使用済み制服の処理方法を見直しました。従来、使用済みの制服は焼却・廃棄処分されるため、その過程でCO<sub>2</sub>が排出されていました。そこで2022年7月より、制服を断熱材や防音材等の中間材として還元し、新しい製品の原料とする「マテリアルリサイクル」を始めました。

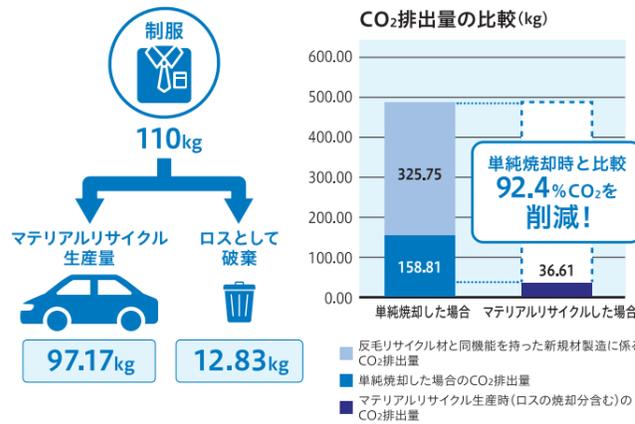
不要になった制服は、ともに制服の再資源化に取り組んでいる株式会社エヌ・シー・エスのリサイクル処理工場で破碎し、ボタンやホックなどの付属品は除去します。その後、布地をときほぐす「反毛工程」を経て綿状になった素材は、自動車内装等加工会社でフェルト化され、自動車防音材などの原料に生まれ変わります。

### ●マテリアルリサイクル



### 制服リサイクルにより CO<sub>2</sub>排出量を92.4%削減!

制服リサイクルの導入により、株式会社NAAリテイリングで不要となった制服110kgのうち、97.17kgがマテリアルリサイクルされました。ロスとして廃棄されたのはわずか11.7%。CO<sub>2</sub>排出量も、使用済み制服をすべて焼却し、マテリアルリサイクル材と同じものを新規に製造した場合と比較すると、92.4%の削減効果が見られました。



### STAFF VOICE

## “環境問題の解決や災害の抑止につなげたい”



株式会社NAAリテイリング 業務部 業務課 前川 知美

制服リサイクルに携わってから、ものを廃棄する際、マテリアルリサイクルの可能性を考えるようになりました。近年は、異常気象による災害で着るものがなく困っている方がおられる一方で、まだ着られる衣類が大量に廃棄されています。制服リサイクルによるCO<sub>2</sub>削減率は、社会全体では微々たる量です。しかし、本取り組みがほかの分野に広がれば、温室効果ガスを削減でき、環境問題の解決や災害の抑止にもつながると期待しています。環境問題への対策が「急務」になっている今、常にできることを模索する必要性を感じています。

## 2. タイルカーペットリサイクル

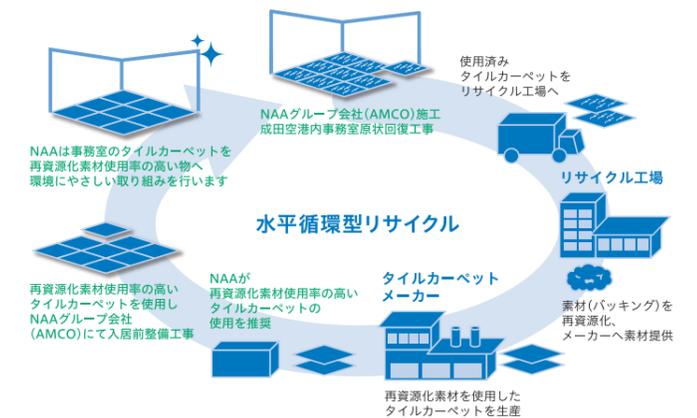
成田国際空港内では、事務室の原状回復工事や入居前整備工事などで廃タイルカーペットが大量に発生しています。その大半はリサイクルされず埋め立て処分されていたため、廃タイルカーペットを再生资源メーカーに提供しリサイクル業務を委託することに。さらに、空港内でこのリサイクルカーペットの使用を始めました。

この取り組みは、資源の有効活用とともにCO<sub>2</sub>排出量の削減にも貢献しています。今後は、成田国際空港内や当社だけでなく、テナント事務所などのリニューアルでも積極的にリサイクルカーペットを推奨していきます。



### 「水平循環型リサイクル」とは

廃タイルカーペットは、リサイクル工場で100%再資源化され、タイルカーペットの原料としてメーカーへ。メーカーは、提供された再生材でタイルカーペットを生産。このように再生材で作られたタイルカーペットを積極的に使用することで、「水平循環型リサイクル」を実践しています。



### STAFF VOICE

## “資源を循環させ、サステナブル・エアポートの実現へ”



成田国際空港株式会社 空港運用部門 施設保全部 建築グループ 梶山 大毅

タイルカーペットは産業廃棄物にあたるため、法令上問題がないよう慎重に進めました。大規模建築物である空港の建設廃材は膨大な量です。内装材100%リサイクルの取り組みは成田国際空港では初の試みであり、先行事例として床カーペットを選定しています。従来の仕組みにとらわれない自由な発想で水平循環システムの構築に挑み、空港内事務室を中心に順次リサイクルカーペットを採用しています。本取り組みは、空港内の建設廃材を資源循環させる第一歩。今後は、関係者と協力して、“サステナブル・エアポート”の実現に努めます。

## “空港内で発生する廃材の再資源化率を高めるために”



エアポートメンテナンスサービス株式会社 建築事業部 建築管理課 二子石 里沙

近年重要視されるESGの観点や、「サステナブルNRT2050」の目標達成に貢献するため環境に配慮した取り組みを模索する中、導入されたのがこのリサイクルシステムです。水平循環型リサイクルタイルカーペットは、価格も施工も従来と同等で、美観性や踏み心地などの使用感も遜色ありません。廃棄物に資材としての価値が見いだせるようになった今、この取り組みを皮切りに、空港内工事で発生した廃材の再資源化率向上を目指します。